

## 議案第 17 号

### 朝霞市放課後児童クラブの設備及び運営の基準を定める条例の一部を改正する条例

朝霞市放課後児童クラブの設備及び運営の基準を定める条例（平成 26 年朝霞市条例第 36 号）の一部を次のように改正する。

第 22 条を第 25 条とし、第 14 条から第 21 条までを 3 条ずつ繰り下げる。

第 13 条を第 15 条とし、同条の次に次の 1 条を加える。

（業務継続計画の策定等）

第 16 条 放課後児童クラブ事業者は、放課後児童クラブごとに、感染症や非常災害の発生時において、利用者に対する支援の提供を継続的に実施するための、及び非常時の体制で早期の業務再開を図るための計画（以下この条において「業務継続計画」という。）を策定し、当該業務継続計画に従い必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

2 放課後児童クラブ事業者は、職員に対し、業務継続計画について周知するとともに、必要な研修及び訓練を定期的実施するよう努めなければならない。

3 放課後児童クラブ事業者は、定期的に業務継続計画の見直しを行い、必要に応じて業務継続計画の変更を行うよう努めるものとする。

第 12 条を第 14 条とし、第 11 条を第 13 条とする。

第 10 条第 2 項中「必要な措置を講じなければならない」を「、職員に対し、感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための研修並びに感染症の予防及びまん延の防止のための訓練を定期的実施しなければならない」に改め、同条を第 12 条とし、第 9 条を第 11 条とし、第 8 条を第 10 条とし、第 7 条の次に次の 2 条を加える。

（安全計画の策定等）

第 8 条 放課後児童クラブ事業者は、利用者の安全の確保を図るため、放課後児童クラブごとに、当該放課後児童クラブの設備の安全点検、職員、利用者等に対する放課後児童クラブ外での活動、取組等を含めた放課後児童クラブでの生活その他の日常生活における安全に関する指導、職員の研修及び訓練その他放課後児童クラブにおける安全に関する事項についての計画（以下この条において「安全計画」という。）を策定し、当該安全計画に従い必要な措置を講じなければならない。

2 放課後児童クラブ事業者は、職員に対し、安全計画について周知するとと

もに、前項の研修及び訓練を定期的実施しなければならない。

3 放課後児童クラブ事業者は、利用者の安全の確保に関して保護者との連携が図られるよう、保護者に対し、安全計画に基づく取組の内容等について周知しなければならない。

4 放課後児童クラブ事業者は、定期的に安全計画の見直しを行い、必要に応じて安全計画の変更を行うものとする。

(自動車を運行する場合の所在の確認)

第9条 放課後児童クラブ事業者は、利用者の放課後児童クラブ外での活動、取組等のための移動その他の利用者の移動のために自動車を運行するときは、利用者の乗車及び降車の際に、点呼その他の利用者の所在を確実に把握することができる方法により、利用者の所在を確認しなければならない。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、令和5年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日から令和6年3月31日までの間、改正後の第8条の規定の適用については、同条中「講じなければならない」とあるのは「講ずるよう努めなければならない」と、「実施しなければならない」とあるのは「実施するよう努めなければならない」と、「周知しなければならない」とあるのは「周知するよう努めなければならない」とする。

令和5年2月24日提出

朝霞市長 富岡 勝則